

プロフィール



名前	池上 花奈
所属部署	東京大学 理学系研究科 生体情報学研究室
職種	特任研究員
着任日	2017年4月1日
出身地	愛知県名古屋市
趣味	海外ドラマ鑑賞

インタビュー

Q. 現在の研究内容は？

排卵のタイミングがどのように制御されているのかを研究しています。具体的には、魚（メダカやマミチョグ）を使って、GnRH分泌制御の脳内メカニズムを神経生理学的・内分泌学的に解明しようとしています。

ポスドク（現職）から、実験動物をげっ歯類から魚類に変え、日々苦戦しながらも、ほ乳類との違いを楽しみながら研究に励んでいます。

Q. マミチョグって何？

マミチョグは、カダヤシ目フンドゥルス科に属する、あまり可愛くない小型魚です。原産地は北アメリカの大西洋沿岸の汽水域。メダカより大きい（15cm程）ので、血中ホルモン測定や脳内局所投与が簡単にできることが利点です。

Q.今の研究室に入ったきっかけは？

学生時代（名古屋大学生命農学研究科）には、キスペプチンニューロンに着目しGnRHパルス発生メカニズムについて研究していました。その過程で、神経科学をもっと深く学びたいと思うようになり、神経生理学を専門としている現所属先で研究を続けることにしました。快く受け入れていただけたのは、研究会で顔なじみだったことや、恩師や先輩、仲間にも恵まれたことも大きいと思います。

Q.好きな言葉は何？

「悲観主義は気分によるもので、楽観主義は意志によるものである。」
←もとは『幸福論』アランの言葉なのですが、これを教えてくださった東村博子先生の言葉だと、しばらく思っていました（あまりにも先生にぴったりな言葉なので…）。この言葉で自分を奮い立たせています。

Q.最近、成長したなと思うことは？

ごはんを研究室に持っていくのに、お茶碗ではなくお弁当箱を使うようになったこと…ですかね。

Q.最後に目標をどうぞ。

今はがっつり基礎研究にはまっていますが、マインドはやはり農学です。将来は世界の食料生産の効率を向上させることを目標に研究を続けていきたいです。